

レジャー施設から従業員用駐車場まで。次世代自動車普及のカギを握る充電スポットを業種別に紹介。

EV・PHV Charging Point Report

EV・PHV 充電 インフラレポート 2015

2015年6月現在、全国1059の道の駅のうち、充電設備を設置しているのは390駅。

「道の駅」連絡会では、道の駅同士の連携を高めながら、
充電インフラ拡充に取り組んでいる。

18



全国「道の駅」連絡会&遠野市 (岩手県)



「道の駅 遠野風の丘」は、花巻と釜石の中間地点に位置し、充電スポットとしても大きな役割を担う。月に25件ほどのEV・PHVユーザーが充電設備を利用しており、「安心して遠野に来られるようになった」「充電中に道の駅でゆっくり買い物を楽しめる」という喜びの声も。充電待ち渋滞を避けるため、1回あたりの充電を30分に設定している。

Check Point

- 道の駅の充電ネットワーク拡大へ
- 充電設備が防災機能の一助にも
- 充電中に楽しめる環境も整備



宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をイメージさせる「めがね橋」の上流に位置する「道の駅 みやもり」にも急速充電器を設置。雪避け用の屋根も取り付けている。

自治体の枠を超えた連携で
全国の「道の駅」充電ネットワーク確立へ

充電設備が 防災機能強化の鍵にも

補助金制度の拡充もあり、近年、充電設備を導入する道の駅が急増。休憩、情報発信、観光案内、地産地消に加え、EV・PHVの充電スポットとしての役割も期待されている。

「道の駅を機能強化することで、地域産業の振興に加え、雇用も拡大します。そこで、2011年12月に立ち上げた『全国「道の駅」連絡会』主導のもと、各駅を特徴付けながら、市町村の枠を超えた道の駅同士をつなぐプロジェクトを取り組んでいます。

東日本大震災後、遠野市ではガソリン供給が安定するまで約1カ月かかった一方で、電気は2日で復旧しました。この時、エネルギーインフラの重要さを再確認するとともに、防災・交通の要衝である道の駅への充電設備設置が急務であることを痛感。道の駅の充電ネットワークを構築すべく、今後も全国の道の駅に設置を呼び掛けていきます」（全国「道の駅」連絡会会长・岩手県遠野市長 本田敏秋氏）

本田氏が市長を務める岩手県遠野市では、2015年4月、道の駅をはじめとする5カ所に充電設備を導入する方針を打ち出しました。この取り組みは、各方面的充電ルート確保や移動を楽しめる環境づくりも含め、多面的な視点から実現されました。



遠野市街地の観光拠点として「遠野市民センター」の駐車場にも充電設備を導入。観光客のほか、市民会館やスポーツ施設の利用者、隣接する宿泊施設の利用者にも開放している。



「人口減少社会において、大切なのは地域間の“絆”。全国の道の駅を強い絆で結び、観光から福祉、防災まで機能を充実させ、安心して暮らせる地域社会の形成をサポートしていきたいです」（本田氏）

Charging Spec

岩手県遠野市

【充電設備設置場所】道の駅 遠野風の丘、道の駅みやもり、産直 ともちゃん、夢産直 かみごう、遠野市民センター

【充電器タイプ】急速充電器 各1台

【充電料金】利用会員カードの会員料金
または1分50円

【利用可能時間】24時間

※原稿は2015年7月9日に取材した内容を元に作成。

●お問い合わせ

充電インフラ補助
コーリーセンター **03-5501-4415** (9:00~17:00)
平日のみ <http://www.cev-pc.or.jp> 次世代自動車 検索



一般社団法人 次世代自動車振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12大手町建物虎ノ門ビル2階

一般社団法人 次世代自動車振興センターは、経済産業省からの補助金で電気自動車、プラグインハイブリッド自動車や充電設備の購入者等(リースを含む)に対する補助事業を行っています。